

[008]学生法政論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1463260>

出版情報：学生法政論集. 8, 2014-03-25. 九州大学法政学会
バージョン：
権利関係：

編集後記

掲載された方も、掲載されなかった方も、論文を応募して下さったみなさんは、論文を書くことでいろいろと得たものがあると思います。研究のプロである複数の先生方からコメントをもらえること自体、貴重な機会です。本年度から審査基準を、より厳正に明確化した結果、入賞作品はありませんでした。次年度以降、より優れた作品で「挑戦」するみなさんが増えることを期待しています。(爺)

今年度は、惜しくも選に漏れたものも含めて、国際関係、政治、公法の分野から多くの寄稿がありました。来年度は、これらの分野はもちろん、刑事法・民事法の分野での骨太の解釈論に挑戦する論文にお目にかかれることを楽しみにしております。(IR)

皆さんの論文の視点が、素直な関心から出発していることが伝わってきて、興味深く拝読いたしました。論じていく過程は、思考の過程でもあります。いかに明確に伝わるように論じていくか何度も書いているうちに学んでいくことが多いと思います。皆さんの今後のご活躍を期待しています。(SUV)

自分の世界に入り込み過ぎず、常に架空の読み手を意識して分かりやすい論文を書きましょう。また、綺麗にまとめようとしてややこしい部分を端折らずに、難しい論点にこそ正面から食いつきましょう。書けば書くほど頭がよくなります。(仏)

論文のテーマやアプローチは自由であるとは言えますが、論文の記述内容そのものは、実はそれほど自由が許されるわけではありません。求められるべき質を備えた内容とするには、それなりの要式と論理的な構成が必要になります。良い論文を書くための努力を惜しまず、これからも頑張ってください。(MN)

今回は課題の設定が面白い論文が多く、とても楽しんで読むことができました。ここに掲載された論文はもちろんですが、残念ながら不掲載となった論文にも、きらりと光るものはありました。自分の頭でものを考え、それを文章にするという作業は、それ自体がとても大切な営みです。今回の経験が、皆さんにとって貴重な財産になることを願っています。(A. E.)

『学生法政論集』第9号(2015年3月発行予定)の募集につきましては、「九州大学法政学会ホームページ」および「法学部ホームページ」にてお知らせします(6月下旬予定)。
